

# 議会だより

発行 奈義町議会  
編集 議会広報編集委員会  
〒708-1323  
岡山県勝田郡奈義町  
豊沢306-1  
☎(0868) 36-4111

あなたと議会を結ぶ広報紙

平成17年11月1日発行

## 二園最後の

# 運動会



▲つくし幼稚園



◀中央幼稚園

## お も な 内 容

9月定例会で決まったこと	2～3ページ
一般質問	4～6ページ
委員会報告	7～8ページ

### 9月定例会

# 9月定例議会のあらまし

会期 9月13日～21日 (9日間)

## 審議のあらまし

- ・13日 行政報告、補正予算5件、陳情1件、その他1件
- ・20日 一般質問 (3議員)
- ・21日 決算1件、意見書1件、陳情4件、その他1件、委員会報告

(単位：千円)

会計別	補正額	補正後の予算額	結果
一般会計	142,300	3,671,200	原案可決 (全員一致)
国保	51,550	576,550	〃
分譲地	10,485	28,515	〃
介護保険	18,594	486,266	〃
公共下水道	1	922,001	〃

### ◆補正額の主なもの

一般会計の歳入は、地方交付税114,589千円、国県支出金10,749千円、町債6,700千円。歳出は、職員給与を見直し、民生費24,474千円、衛生費15,300円、土木費10,718千円、農林水産業費7,091千円、教育費▲13,985千円、予備費91,079千円で、主に介護予防拠点施設整備、道路改良、森林災害復旧工事費に充てられます。

国民健康保険・介護保険特別会計は、16年度精算による繰越金で医療費に充当、分譲地造成特別会計は、モデル住宅の売却予定が賃貸契約に変更したため減額。

補正予算  
議案審議

条例など14議案を審議

# 臨時議会

◎第三回臨時議会

(八月二十二日開会)

補正予算

◆一般会計

歳入歳出予算に五百九十九万円が追加され、予算総額が三十五億二千八百九十万円になりました。これは衆議院議員選挙執行に伴うものです。

契約

(全員一致)

◆奈義町特定環境保全公共下水道事業下水管渠布設工事(その1) 請負契約の締結

・契約金額

九千六百四十九万五千円

・契約先

株式会社 森藤工業

(全員一致)

# 決算認定

◆平成十六年度奈義町上下水道事業会計決算認定について

九月十三日の本会議において、議員総員による決算特別委員会が設置され審査が付託された。

九月十五日集中審査を行

◆奈義町特定環境保全公共下水道事業下水管渠布設工事(その2) 請負契約の締結

・契約金額

七千二百四十五万円

・契約先

河井建設工業株式会社

(全員一致)

◆専決処分の報告

\* 中央公園整備工事請負変更契約の締結(山の駅東)

・契約金額

一億五千九百六十万円

元契約金

一億五千九百六十万円

変更契約金

一億五千八百六十八万円

・契約先

森安建設株式会社

# 陳情・意見書

件名	結果
「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書採択を求める陳情	不採択 (賛成1・反対8)
岡山県地方最低賃金の引き上げと最低賃金制度の抜本的改正を求める陳情書	産業常任委員会 継続審査
「道路整備予算確保に関する意見書」の採択について	採択 (賛成6・反対3)
要望書 (奈義町中島西果樹園の借用について)	産業常任委員会へ付託
要望書 (奈義町農業用機械格納庫の借用について)	産業常任委員会へ付託
道路整備予算の確保に関する意見書(案)の提出について	原案可決 (賛成7・反対2)

い、純利益一千二百万円の黒字であるが、翌年度繰越剰余金の用途について、一世帯当りの使用水量は、広域水道の受水単価が以前の説明より相違する点、企業債の利率の問題、勝英土地改良区への管理費、固定資産の土地評価の問題、今後ダクタイル管の取替えの延長は、滞納者の処分問題、有収率減の理由、末端の濁り水の解消方法等、熱心に質疑応答があり、慎重審議の結果、賛成多数で認定することに決定、九月二十一日本会議で委員長報告、反対討論、賛成討論の後、採決に付し賛成多数により認定を議決した。

# 政務調査費は何に使われた!

● 平成17年度前期分収支報告及び支給決定額一覧表 ●

(単位：円)

議員名	収支報告額(実績)							合計	支給決定額
	調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費			
渡辺 吉幸	36,242			4,788	9,660	40,000	90,690	60,000	
高井 一男	36,242				8,460		44,702	44,702	
井戸 賢一	36,242				3,660		39,902	39,902	
栗井 忠義	36,242				3,660		39,902	39,902	
森藤 政憲				4,446	3,660	10,470	18,576	18,576	
鷹取 敏文	36,247				3,660		39,907	39,907	
安藤 剛	36,242				3,660		39,902	39,902	
願念 一郎	36,242				12,720		48,962	48,962	
森安 誠治	36,242				3,660		39,902	39,902	
小童谷 進	36,242				14,330		50,572	50,572	
計	326,183	0	0	9,234	67,130	50,470	453,017	422,327	

# 三議員により町政全般を質す

# 一般質問

Q 子どもの医療費無料化年齢引き上げを



森藤 政憲 議員

A 他の課題とのバランスを考え、検討

**質問** 子どもの医療費無料化対象年齢引き上げについて町内のお医者さんからも要望が出ている。対象年齢の引き上げを検討したかどうか。

**答弁** 粗大ごみの事業費実績は黒字となっている。料金の引き下げを考えるべきでは。中学校給食の補助金申請が平成十八年度予算獲得に向け国に要望してあるが、積極的な働きかけを。

**答弁** 町長 子どもの医療費の問題は、財政的な事もあり、他の課題とのバランス

A 介護保険料の引き下げを

スも考えて検討したい。今、「やりませ」とは言えない。粗大ごみの手数料については、町ももうけが目的ではないので、今後、見直しを持って対応したい。

中学校給食の補助金獲得に向けては、力を入れたと思うが、補助金が少なくなった場合の対応については議会とも相談したい。

**Q** 介護保険料の引き下げを

**A** 大きな負担は避けたい

**質問** 来年、介護保険料の見直しがある。奈義町の場合、介護保険料は黒字となっており、保険料の値下げを検討すべきではないか。

また、この十月から施設入所者（特養など）へ食費や居住費の全額負担が導入されるが、大変である。何らかの対策を。

**答弁** 町長 保険料については、できるだけ負担増を避けるよう、担当部局に指示している。大きな値上げは、なんとか避けられるのではないか。

特養入所者の負担増については、一般的には、耐えられないような人は出てこないと聞いている。実際にどうなるか、その辺りの推移も見たい。

Q 転作物への助成充実を

A より効果的な助成を再検討したい

**質問** 水より安い生産者米価」と言われるような、本当に暗い農業の実態がある。転作物への助成金は削られたが、これは充実すべき課題ではないか。

来年廃止される、町の農業用機械への対策は。

郵政民営化のあとは、「農協の解体」（金融や保険、経済事業を分割する考えがある。）と言われている。この問題について町長の見解は。

**答弁** 町長 転作物への助成は他町より進んで実施しているつもりだが、助成のあり方について、より効果的なものになるよう再検討してみたい。

農業用機械の廃止について

では、近所同士の協力も考えて乗り切って欲しい。農協の解体は、そう簡単に進むとは思われないが、私も納得はできない。

Q 西原ダムの水、百万トンほったいない

A 工業用水などの方向を検討中

**質問** 苦田ダムの水を買う関係で、西原ダムの水利権一年間百万トンが宙に浮く事になる。まことに「もったいない」話である。この利用計画はできているか。小規模の水力発電が全国的に注目されているので一考を。

**答弁** 町長 うまくいけば工業用水に五十万トンの需用を確保できるかもしれない。

水力発電については、今後、自然エネルギーの検討もあるので提案してみたい。

その他、衆議院選挙の結果について、町長の見解は、合併しない自治体への研究会の呼びかけをしては、などの質問を行った。

# Q 西原ダム水の利用は



井戸 賢一 議員

## A 工業用水に

**質問** 苦田ダムからの水が平成十七年十二月には全町に配水することになるが、西原ダムの百万トンの権利のある水について全く不要となるのは確実である。

**回答** 今後の利用計画等早急に立て、最善の努力をし、町民に理解を得ることが一番であろうと思うが、より具体的にどう進められるのか。

**答弁 町長** 水のない奈義町にとって十五億で百五十万トンの水利権を持つことが大きな魅力で現在に至った。三社電機が年間五十万トンの水を使用する計画であり、景気が好転すれば事業を拡大し、是非、欲しいとのことである。

また、新たな工業団地に水を使用する企業誘致も考

えていきたい。

二年〜三年の間に西原ダムの水を有効利用することに努力を重ね、水道会計とのバランスを図っていく。

**Q 将来のゴミ処理は問題はない**

**質問** 上町川地内にある処理場は十二億円をかけ炉の大改修及びバグフィルターを取り付け、耐用年数は七〜八年と聞かすが、以前焼却灰等で問題があったが、環境問題も含め移行するまでの間大丈夫か。また、広域処理場はスムーズに進捗しているか問う。

**答弁 町長** 上町川にあるゴミ処理場はダイオキシンの対策を十二億かけ実施して

おり、現在は煙の排出にも問題ない。津山ブロックの処理場は建設地である綾部地区で反対はあるものの説得を重ねているとの事であり、本年より環境アセスを二年間でやり、設計、建設事業に四年かかる。最短で六年であるが実際には七〜八年かかるのではと思っている。

総事業費は、二百二十億円で参加市町村で割ることになるが、大部分津山市が持つことになる。

問題は津山でいつ操業になるか、上町川にある施設の老朽化、借入金の償還との関係もあり、概ね時期が合ってくるのではと思う。

山の間周辺整備事業、豊沢の多目的広場は、両事業とも高率補助で取り組みが出来たと思うが、高円は三・五ha、豊沢は一・三haと広大な面積であり、今後の維持管理が大変である。町長として、維持管理、活用方法について、どう考え、どう進めるのか。

**Q 山の駅周辺、豊沢の多目的広場の維持管理、活用方法は金をかけず特色ある公園、広場に**

**質問** 山の駅周辺整備事業、豊沢の多目的広場は、両事業とも高率補助で取り組みが出来たと思うが、高円は三・五ha、豊沢は一・三haと広大な面積であり、今後の維持管理が大変である。町長として、維持管理、活用方法について、どう考え、どう進めるのか。

**答弁 町長** 両事業の完了に伴い今後の管理運営だが、山の駅周辺は特色ある公園に、特に山野草など奈義町の自然や伝統文化の一環を守る最小限度で特色のある公園に思っている。

豊沢の多目的広場については社会福祉協議会で管理し、各種のイベント会場に使用する。また、トイレの問題があるが、今後仮設トイレで対応したいと考える。

**Q 国道五十三号線の整備促進を力の限り最大限努力する**

**質問** 町道、県道改良については、スムーズに進んでいるが、特に国道五十三号線の広岡〜滝本に至る天王ヶ鼻付近は町道二路線から国道に出る所が非常に見通しが悪く危険である。議会でも再三にわたり質問された経過があるが、国土交通省への陳情の経過なり、見直しについては。

また、上町川の大曲り付近も同様の質問とする。

**答弁 町長** 長い間陳情を重ねているが、五十三号線

は通行量が少ない、事故率が低いとか、順番があるとされている。先般広島地方建設局に岡山県の建設部長外に同行を願う強力に陳情した結果、大曲りについては改良を念頭に置いた行動をとりたい旨、回答を得た。

また、天王ヶ鼻付近は案外早く実施してくれるのではという感触を得た。なお、上町川のバス停前の歩道設置は地権者の承諾が得られたので工事に着手の予定である。

いずれにしても力の限り早期実現に向けて最大限の努力をする。



53号線の早期改良を

### Q 今後の町道整備は



渡邊 吉幸 議員

### A 町民の協力得て

**質問** 厳しい財政事情の中で道路・下水など、インフラの整備は引き続き計画的に進めるべきところである。町道の総延長距離は二九三・六km、その内舗装されている町道は、一八八・四kmで、舗装率は六四・二%である。

過去四年間に新設改良に使用した決算額は、年平均一億一千万円、舗装道路の維持管理費は約一千七百万円、中でも改良済み町道の維持管理費は、今後増加の一途を辿るのは確実で、従来以上の予算措置が必要と考える。今後、町道の新設改良及び維持管理の取り組みについて。

でいる。今後とも財政の許す範囲で進める。大きな新設改良工事は出てこないと思うが、維持管理については経費削減を図るためにも町民の皆様の協力を頂きたいと考えている。

### Q 空き家実態調査を A 前向きに再調査

**質問** 日本人の人口は総務省の予想よりも二年も早く、今年から下降線を辿り、いよいよ本格的に少子高齢化に拍車がかかってきた。

奈義町においてもここ数年、毎年約八十名前後の人口減が続く、町内の各所に空家が散見されるようになり、近い将来には更に増加すると予想される。

町として早急に実態調査を行い、家主の意向を踏まえたデータを把握し、今後の活用について検討する必要があると考える。

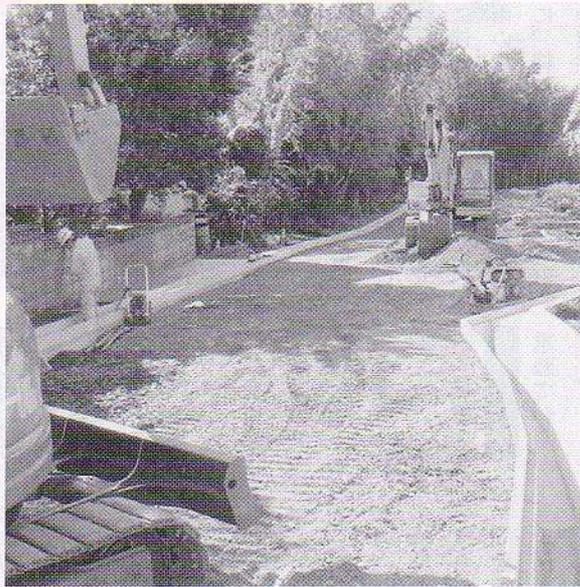
次の二つの観点から提言する。一つは、大量の団塊の世代が定年退職を迎える時代に入り国の施策に対応するため、二つは、南海地震などの大災害に対するリアルタイムでの支援体制の確立のため、早急にデータを収集し管理する必要があると考えるが。

**答弁 町長** 昨年のデータでは五十七戸の空き家がある。空家の実態はほとんど住める状態ではないと認識しているが、再度聞き取り調査を実施して居住可能な空家の実態を把握したい。

### Q 町内のアスベストは A 直接危険性はない

**質問** 奈義町内においても、公共施設の数箇所の建築物にアスベストが使用されていることがわかり、現在人体に及ぼす影響を調査中と聞き、迅速な対応に安堵している。しかしながら、そ

共施設同様実態調査を求め、現況を把握して町民に知らせる必要があると思うが。



町道改良現場

### 答弁 町長

公共施設については数箇所使用されているが、いずれの施設も現状での危険性はない。細部抽出し調査中である。また、公共的団体等についても調査中と聞いている。

他の町内の公共団体施設である農協など、多くの住民が入りする施設のアスベストの現況はどう承知されているのか。もし、明らかにされていないければ、公

教育のあり方と合わせて、国民、特に保護者は、子供たちが使用する教科書に関心を示すようになった。今年、四年に一度見直しされる中学校の教科書採択の年にあたり、全国各地で採択結果が公表され、国内外に話題を提供している。公立小中学校の場合、採択の権限は、学校管理者の市町村や都道府県の教育委員会にある。岡山県は県教育委員会が、自然的・経済的文化条件を考慮して、七つの区域に分けそれぞれが地区協議会で協同採択されている。町教育委員会として、教科書の採択に関し、具体的にどのような対応をされているのか。

### Q 教科書採択の現状は A 委員会で検討意見提出

**質問** 教科書問題が外交問題にまで発展している今日、

**答弁 教育長** 小中学校については、義務教育諸学校の教科用図書は無償措置に関する法律に基づき地域内の市町村が協同して採択することになっている。本町の教育委員会も、津山教科書センターに出向き調査研究し採択協議会に臨み採択に参画した。

# 委員会報告

## 総務常任委員会

八月三十一日、所管事務の調査を行った。

### 総務課・出納室

● 公共施設のアスベスト施工調査、● 地域新エネルギービジョン策定事業、● まちづくり総合計画についての報告の後、委員から、水道管のアスベストの使用は、● まちづくり総合計

画等の質疑があった。出納室では、● 平成十六年度一般会計、特別会計の決算、● 平成十七年度の会計施行状況、基金についての報告があった。

### 税務住民課

● 国保被保険証の更新、● 戸籍のコンビニーター化、● 医療費の伸び率、● 国保税の考え方についての報告

の後、委員から、● 乳幼児医療費の無料化、● 国民年金の徴収、● 精神疾患について質疑があった。

### 保健福祉課

● 総合検診受診状況、● 福祉バスとウォーキング

プールの利用状況、● 新しい介護保険法の件、● 介護保険施設サービスの受給者の状況、● 地域の子育て支援の充実についての報告の後、委員から、● グループホームの奈義町の現状と今後の需用はどのくらいか、

● 介護保険法が変わり、施設入所で利用者負担が上がり困窮するケースが、● 新予防給付により、現在の介護給付が受けられないケースがあるので、などの質疑があった。

### 生活環境課

● 環境基本計画推進協議会、● 環境保全及び公害対策審議会、● 一般廃棄物収集等の報告があった。委員から、● 津山総合ごみ処理

センター建設、● 墓地の許認可について、● 生ゴミ処理についての質疑があった。

### 教育委員会・生涯学習課

● 奈義小・中学校標準学力検査結果に関する事、● 幼稚園統合計画、● 人権教育の発表会に関する事などの報告があった。

委員から、● 中学校給食の見直し、● 学力検査の公表、● 住民参加型の学校教育の取り組みについて質疑があった。

## 産業常任委員会

九月五日、委員全員と、当局から中井町長をはじめ関係課長出席のもと、所管事務の調査を行った。

### 建設課

● 建設課所管事務事業は二十七件あり、その内、災害復旧工事(西原、中島東)も完了した。● 県関係の県道二路線もスムーズに進捗している、● 更に急傾斜地崩壊対策事業の小坂・皆木の状況、● 高円の砂防河川

淀川の状態、● 那岐池幹線水路改修事業について、● 御崎野団地、つくし団地の売却の状況等についての説明があった。委員より、● 県道関係に質疑応答があった。



盛大だった夏まつり会場

### 産業振興課

●平成十七年水稲生産実  
 施面積、転作面積等の説明  
 ●平成十七年度で完了、  
 ●集落営農の取組みの状況  
 の説明、●森林災害復旧事  
 業の申請状況について説明、  
 現在までに三十二ha整備済  
 ●森林づくり交付金事業補  
 助金についての説明、●山  
 の駅収支は若干の赤字、  
 ●畜産共進会での奈義町の  
 入賞結果の報告等があり、  
 委員より、●山の駅周辺事  
 業、豊沢の多目的広場の整  
 備後の維持管理について質  
 疑応答があった。

### 地域振興対策室

●特別町民事業、奈義町  
 ふるさと夏まつり、●屋敷  
 の滝修繕工事の完了、●モ  
 カの収支状況は若干の赤字、  
 ●農業機械の利用状況、平  
 成十六年度に比して約六割  
 七割の利用状況である。

### 上下水道課

●上下水道について、広域  
 水道事業に伴う低区配水池  
 改造工事、電気計装設備工  
 事に三千六十六万円。●配  
 水管（石綿管をダクタイル  
 管に取替える）取替工事十  
 七年度は荒内西地内延長は  
 一千九百六メートル。●広  
 域水道浄水受水費試算表に  
 ついての説明を受けた。  
 ●下水道事業について、平  
 成十七年度は下水管渠布設

工事が主なものであり、七  
 億二千二百万円（十六年の  
 繰越分も含む）である。  
 説明後、●広域水道と西  
 原ダムとの今後について質  
 疑応答があった。

### 演習場対策特別委員会

八月二十一日委員全員出  
 席のもと、町長、助役、総  
 務課長、課長補佐の出席を  
 得て、①演習場問題②演習  
 場使用協定③その他の三件  
 を議題に開催した。  
 ①演習場諸問題について、  
 町長より関係地区長・滝神  
 社と自衛隊との委員会の状  
 況報告を受けた。それによ  
 ると射撃を含め、演習が円  
 滑に行われていること、周  
 辺整備及び障害防止事業な  
 どの補助事業の形態が変更  
 になるとの説明があった。  
 ②演習場使用協定につい  
 ては、自衛隊と地元との利  
 害関係を調整し、相互の便  
 宜を図ることを目的とした  
 もので、業務隊長と町長の  
 間に結ばれたものであり、  
 八月二十一日委員全員出  
 席のもと、町長、助役、総  
 務課長、課長補佐の出席を  
 得て、①演習場問題②演習  
 場使用協定③その他の三件  
 を議題に開催した。  
 ①演習場諸問題について、  
 町長より関係地区長・滝神  
 社と自衛隊との委員会の状  
 況報告を受けた。それによ  
 ると射撃を含め、演習が円  
 滑に行われていること、周  
 辺整備及び障害防止事業な  
 どの補助事業の形態が変更  
 になるとの説明があった。  
 ②演習場使用協定につい  
 ては、自衛隊と地元との利  
 害関係を調整し、相互の便  
 宜を図ることを目的とした  
 もので、業務隊長と町長の  
 間に結ばれたものであり、  
 ③その他、場内町道、法  
 定外公共物、場内民有地の  
 現状などの説明を受けた。  
 また、委員から特損事業の  
 質問があり、この事業は、  
 今では周辺整備および障害  
 防止事業に引き継がれてお  
 り、その他については受益  
 者・関係者の管理になって  
 いるとの答弁があった。  
 今後早いうちに演習場内  
 の視察を行い、現状認識を  
 図ることを了承し閉会した。

### 幼稚園統合対策特別委員会

七月二十日、二回目の委  
 員会を開いた。  
 初めに、中井町長、皆木  
 教育長、担当課長から次の

ような報告があった。  
 ●通園バスについて、計  
 画通りに進められると思う。  
 また（当面）乗務員が乗っ  
 て対応したい。●園の名前  
 を変えて欲しい、との声か  
 あり、アンケートを、考え  
 ている。●空き園舎の利用  
 については、再出発委員会  
 の中に特別委員会を設置し、  
 検討を加えていきたい。  
 この後、委員から●滝川  
 幼稚園の駐車場が狭いので  
 はないか。●つくし幼稚園  
 跡の老人施設の考えについ  
 ては、需用の状況もよく調  
 べてやって欲しい。●事業  
 を進める上の財源の裏付け  
 は、●園名については、特  
 に、中央やつくしの保護者  
 の声をよく聞いてもらいた  
 い、などの質問・要望が出  
 された。

### 編集後記

日ごとに秋色を増し  
 て、各地で運動会やイ  
 ベントが催され、紅葉  
 の好季節となりました。  
 今年は猛暑と異常渇  
 水に悩まされましたが、  
 全国的に大豊作とのこ  
 とです。  
 衆議院選挙が終りま  
 した。今回の選挙では、  
 「郵政民営化」が大き  
 な争点でしたが奈義町  
 では、四、〇六八人が  
 投票されました。選挙  
 は、国民が政治に参加  
 する唯一の機会と言っ  
 てもよいでしょう。そ  
 の結果、議員は国民の  
 願いを託されたことに  
 なります。  
 我々十三期議員の任  
 期も中間点を過ぎまし  
 たが、町民の皆様のご  
 期待にこたえるため奮闘  
 する決意ですので、ど  
 うか叱咤激励をよろし  
 くお願いします。

